

西条市地域公共交通計画【概要版】

◆計画策定の背景

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、本市の公共交通の在り方等を定めた「西条市地域公共交通計画」（計画期間：令和２年度～令和７年９月末、改定：令和５年３月）を策定し、事業を推進してきたが、令和７年９月で計画期間満了を迎えるにあたり、次期計画として策定する。

本計画は、地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものであり、公共交通網の維持・充実を目指し、必要な事項を定めるものである。

◆策定主体 西条市

◆計画の区域 西条市全域

◆計画の期間 令和７年１０月から令和１２年３月末まで

■将来像

みんなで支える、未来につなぐ持続可能な公共交通

■西条市公共交通の問題点と課題

（１）利用者の視点

- 利便性の高い交通手段の確保・充実
- 公共交通利用への支援

（２）交通事業者の視点

- 深刻なドライバー不足への対応
- 新たな事業展開による需要の拡大

（３）自治体の視点

- 運行の効率化による財政支出の抑制
- 移動需要の掘り起こしとデマンド型乗合タクシー（よりそいタクシー）の利用促進

■課題解決に向けた取組

（１）地域の特性に応じた効率的かつ利便性の高い交通ネットワークの形成

（２）持続可能な公共交通の実現に向けた交通事業者の安定的な運営と収支改善

（３）公共交通の存続のための市民の関心と認知の向上

■基本方針・目標・事業

将来像を実現するための３つの基本方針を掲げ、基本方針の下に目標を設定して、その目標を達成するための具体的な事業を位置付ける。

基本方針１ まちづくりと連携した公共交通体系の構築

◆目標１：地域の特性に応じた公共交通体系の構築

事業１-１ 周辺部や居住誘導区域と都市機能誘導区域の移動利便性向上

（１）国庫補助路線の維持・改善

（２）都市機能誘導区域を中心とした公共交通体系の構築

◆目標２：交通ネットワークの形成

事業２-１ 公共交通の役割分担と連携

（１）運行ダイヤの設定と交通結節点への接続改善

【目標１】評価指標	現況値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
路線バス・デマンド型乗合タクシー・鉄道の年間利用者数	1,282,411人／年	R5年度より向上
【目標２】評価指標	現況値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
市内バス路線の1便(1日平均)当たりの輸送人員	1.6人／便	3.0人／便
路線バス・デマンド型乗合タクシーの運行収支率	バス:27.9% デマンド:18.3%	R5年度より向上
西条市の公共交通関連負担額	162,367千円／年	127,644千円／年(H30年度) を現状維持

基本方針２ 持続可能な公共交通

◆目標３：公共交通の担い手の確保

事業３-１ 官民連携した公共交通の担い手の確保

（１）交通事業者と行政等が連携した求人活動等の実施

（２）ドライバー確保のための環境整備

【目標３】評価指標	現況値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
交通事業者のドライバー数	124人	R5年度より向上
【目標４】評価指標	現況値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
検討会の実施回数(累計)	0回	5回以上

◆目標４：交通DX化・GX化の推進

事業４-１ 新技術や制度の運用の検討

（１）AI オンデマンド交通の導入の検討

（２）ライドシェア等の新制度運用の検討

事業４-２ 利便性向上の検討

（１）キャッシュレス決済の導入

（２）公共交通情報取得の簡易化

基本方針３ くらしを支える公共交通

◆目標５：みんなで「乗って守る」意識の醸成

事業５-１ 通勤・通学者、免許返納者等への広報活動

（１）交通環境学習の実施

（２）公共交通情報の提供

◆目標６：地域の多様な主体との協働・連携による公共交通の構築

事業６-１ 地域の関係者と勉強会等の実施

（１）地域の方と情報共有や人材育成の場を設ける

【目標５】評価指標	現況値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
交通環境学習の実施回数(累計)	0回	5回以上
公共交通情報の啓発回数(累計)	0回	10回以上
【目標６】評価指標	現況値 (R5年度)	目標値 (R11年度)
勉強会等の実施回数(累計)	0回	5回以上